



発行 日本共産党 寝屋川市議員団 072-824-1181 FAX: 824-7760 No.3529

寝屋川市議員 中林かずえ 宝町 4-33 090-3944-8385 寝屋川市議員 松尾信次 下木田町 12-6 090-3056-9924 寝屋川市議員 西田まさみ 石津中町 30-3 090-9713-3588 前寝屋川市議員 太田とおる 高柳 2-49-2 080-3818-9722

3月市議会3月25日に閉会

日本共産党議員団 市民要求実現へ奮闘

物価高から市民の暮らしを守る施策の具体化を

中林かずえ議員が討論

25日の本会議では、党議員団を代表して、中林議員が討論をおこないました。一部を紹介します。

中林議員は、物価高騰の下で、市民生活を守る施策の具体化をもとめました。寝屋川市では水道料金基本料金の4か月免除が実施されていますが、さらに財源を確保し、事業者・市民への直接の支援策の具体化をもとめました。

万博校外学習は中止すること

加齢性難聴補助制度創設を

大阪万博校外学習は中止すること。加齢性難聴への補聴器購入補助、府内17市が実施。市としての実施をもとめました。 障害福祉課、健康保険で自動音声システムが導入されようとしているが、市民が電話すれば、職員が対応できる回線を残すことをもとめました。 市内中小業者の経営支援、事業継承調査にもとづく施策の具体化や創業・商店街補助の拡充をもとめました。

小学校体育館エアコン設置 トイレ洋式化などを評価

3か年で事業化の小学校体育館エアコン設置、小中学校トイレ洋式化などを評価。学校給食センターによる給食提供については、子どもたちに温かくおいしい給食の提供すること、小学校給食の無償化をもとめました。子どもの権利に関する

戦後80年 戦争・被爆体験を聞く会の開催を

今年には戦後80年です。節目の年にあたり、戦争・被ばく体験を語る会を持つよう求めました。

3月市議会より

- 教育長 荒木和美氏選任に同意
3月市議会定例会は、市長から提案された条例改正、予算など可決しました。高須教育長の退任にともなう、新しい教育長は、荒木和美氏の選任に同意しました。
- 補聴器購入補助制度などの意見書を採択
意見書は、(1)性犯罪の再犯防止の取り組みへの支援の強化を求める意見書(2)障害者手帳を持たない疾病及び障害に起因する難聴者の補聴器購入補助制度の創設を求める意見書(提出先、大阪府知事)を採択しました。



子ども食堂に当初から取り組んできた団体 市の補助受けられない事態に市としては正の努力を

子ども食堂は2017年度から市の補助制度がはじまりました。コロナ禍のもとでも、安全対策をとり、活動を継続してきました。同時に、子ども食堂の多くは完全無償ボランティア。さまざまな困難をかかえています。市として子ども食堂の意見をよく聞き、寄り添うとりくみが必要で

す。ところが、新年度の補助金申請にかかわって、当初からがんば



京阪香里園駅前のトイレ設置 今年度の早い時期の設置へ協議

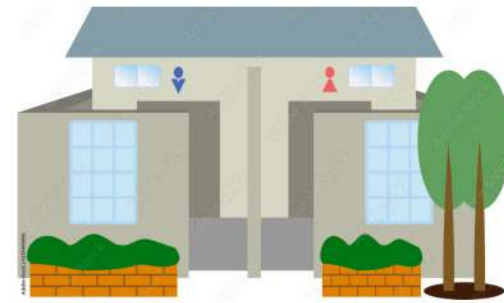
市民の切実な要求実現へ

3月市議会総務都市創造常任委員会で、松尾信次議員はさまざまな課題について、発言しました。一部を紹介いたします。

京阪本線連続立体交差事業にかかわって、住民から強く要望されている、京阪香里園駅前のトイレの設置について、早期の設置をもとめました。「トイレは設置に向けて、場所、時期などについて大阪府、京阪電鉄と協議している」との答弁でした。

松尾議員は今年度の早い時期に設置できるように、協議することをもとめ、市もその方向

でとりくむ旨の答弁をおこないました。香里園駅前のトイレ設置は、たくさんの方の名も集まり、住民の運動としてとりくまれてきました。早期の実現をひきつづき求めていきます。



地域公共交通守るため

国、大阪府が責任を果たすこと

3月23日から寝屋川市内の京阪バスの一部路線の減便が実施されました。事前の説明もなく、バス停留所に通知文がはられ、市民から「バスが減ると困る。何とか継続できないか」という声が寄せられています。

松尾議員は市がとりくんでいる、ねやBUS事業、乗り合い事業などに、国や大阪府から1円の補助もないことを指摘し、北陸新幹線小浜ルート延伸などのムダな大型公共事業をやめ、身近な市民の足の確保に国も大阪

府も財政支出することを、強くもとめるべきと指摘しました。市の具体的な事業としては、現在3地区の乗り合い事業の拡大、公共交通利用促進事業の利用の見直しについては、ていねいな対応をもとめました。

非正規労働者の待遇改善 正規職員の定数増を

松尾議員は市役所職員の体制強化・非正規労働者の待遇改善など、ただしました。代表質問で、愛知県みよし市の例を紹介し、非正規職員の待遇改善、正規職員の定員増をもとめました。

自治体職員での非正規職員の比率は2023年度現在、全国平均では25%。寝屋川市は45%と全国平均を大きく上回っていることを指摘し、改善をもとめました。みよし市では、市内

企業で働く非正規労働者を正規化すると、市が助成金を支給することも示しました。「担税力のある若い世代」は非正規雇用の見直しと一体であることも、指摘しました。

女性は男性の62%

男女賃金格差市としては正計画を

寝屋川市職員の男女の賃金格差についてもとりあげました。2022年分で全職員(非正規の方を含む)では女性の賃金は男性の62・8%にすぎません。非正規労働者の約8割が女性であることが大きな要因です。しかも他の市と比較しても低くなっています。

松尾議員は実態把握だけではなく、是正計画を早くつくることをもとめました。また、市職員の賃金

の国との比較を示す、ラスパイレス指数が府内で最低となっていることについて、寝屋川市では初任給で20数万円になっても、管理職につかないと、上限で30万円ぐらいまでしか賃金が上がらない、こんな状況では転職・離職も増え安定した職員体制にならないことを指摘し、働くすべての労働者の賃金上げをもとめました。

法律相談

4月10日(木)
午後6時半

日本共産党
寝屋川市委員会

※予約は市議員まで

府営住宅入居者募集

4月1日(火)~15日(火)

※申込書は市議員まで



松尾 信次

3月30日、萱島地域で今年2回目のバザーをおこない、女性を中心にたくさんの方にきていただきました。日本共産党のバザーを楽しみにしていただいている方が少なくありません。

萱島地域に、日本共産党事務所ができて、今年で40年になります。事務所の維持には、家賃、光熱水費、駐車場代など、多額の費用がかかります。

日本共産党は企業献金禁止、政党助成金の廃止を求め、これらを一切うけとっています。地域の事務所を維持するために、住民のみなさんに継続して募金をお願いしています。

地域の共産党事務所が、住民のみなさんの「困ったときの身近な相談相手」としての役割をはたすことを念頭に、今後もとりくんでいきます。